

個別相談会を実施しました

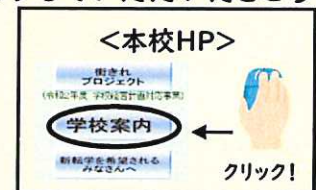
夏休み期間中に個別相談会を実施しました。大雨により途中変更等もありましたが、御参加いただいた保護者の方、地域の学校の先生方、ありがとうございました！少しでもお役に立てましたなら幸いです。

昨年度に引き続きの開催でしたが、今年度はオンラインによる相談も実施させていただきました。御持参いただいた動画等を参考にしたり、実際に使用されている教室や支援具を拝見したりしながらお話を進めることができ、大変ありがたかったです。今後も引き続き、本校のセンター的機能を御活用いただければと思います。

お知らせ（本校への入学・就学等を御希望の方へ）

※本校への進学・就学をお考えの方は **10月末まで**に必ず教育相談を受けてください。

※本年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学校内の見学を中止しております。つきましては、本校HPにて学校紹介動画【YouTube】を掲載し、本校の様子等を御覧いただくことができるようにしております。本校HPの「学校案内」をクリックしていただいたところに掲載しておりますので、教育相談を受けられる際は、事前にこちらを御覧ください。また、本校の様子をお知りになられたい方は、本校への進学・就学等を希望される方に限らず、全ての皆様において見ることができるようになっています。ぜひ、御覧ください。



コラム「できた、分かったを大切にする授業づくり」

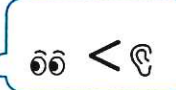

「授業が始まると、すぐに寝る。」「私語やよそ見をして、授業を聞いていない。」・・・このような状況の児童生徒はいないでしょうか。この状態は、もしかしたら学習性無力感に陥っているかもしれません。学習性無力感とは、「どうせやってもできないし、分からない。」等と思うようになり、その状況を変えようとする行動をしなくなる現象を言います。このような状況の児童生徒については、自分の行動で状況を変えることができる（「やればできる!」、「授業を受ければ分かる。」）と思えるコントロール可能性を感じさせることが大切です。

そのためには、例えば、「授業の導入では児童生徒が少し考えれば分かる難易度の問題を提示」したり、「聞くだけではなく、見る、触る、体験する等の様々な感覚を用いた内容を設定」したり、「ユニバーサルデザインの授業づくりの視点で分かりやすい環境調整」をしたりすることが大切です。「できた」、「分かった」を大切にする授業づくりについても、特別支援教育の視点からお伝えできることがありますので、ぜひ、お気軽に御相談ください。



コラム2「その子の“得意”を生かして」

巡回相談などの相談業務に当たる時、保護者の方や先生方に「お子さんは“見る”のと“聞く”のではどちらが得意ですか？」とお尋ねすることがあります。これは、視覚・聴覚の活用や脳での情報の処理（同時処理・継時処理）に関してどちらが優位（＝得意）かといったことを確かめるためです。聴覚活用が優位なお子さんは継時処理が、視覚活用が優位なお子さんは同時処理が得意だといわれています。

継時処理	同時処理
<ul style="list-style-type: none"> ・情報を一つずつ順序立てて理解する方法のこと ・聴覚優位  	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の全体を捉えてから部分同士を関連付けて理解する方法のこと ・視覚優位 

肢体不自由のお子さんの場合は、基礎疾患や障害の程度にもよりますが、聴覚活用の方が得意で脳での情報の処理は継時処理の方が得意といったケースが多い傾向にあります。要因として考えられることは様々ですが、肢体不自由があるために思うように身体を動かして“見る”ということは難しいが、動かなくても自然と入ってくる音を“聞く”ということは可能で、その能力を幼少期から伸ばしているからといったことがあげられます。※諸説あります。

（その他、聴覚・視覚以外の感覚を使った方がわかりよいといった場合もありますが、それはまたの機会に・・・）

反対に発達障害のお子さんの場合（特に自閉スペクトラム症）は、視覚活用の方が得意で脳の情報処理は同時処理の方が得意といったケースが多い傾向にあります。

具体的な例を挙げると学習時の予定等は聴覚活用及び継時処理が行いやすいよう順序だてて言葉で説明した方がより理解しやすい子と視覚活用及び同時処理が行いやすいよう全体の予定を書き出して細部の説明した方がより理解しやすい子とがいるという違いです。

継時処理の得意な子への指導	同時処理の得意な子への指導
<ul style="list-style-type: none"> ・一つずつ段階的に教える ・耳からの情報、言語的な情報を重視する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を説明した上で部分へ入っていく ・目からの情報を重視する
一斉指導では・・・	
<ul style="list-style-type: none"> ・声で指示をする⇒黒板に手順を書いてから指示する ・全体の目的・概要を伝える⇒次に1から順序立てて説明する ・全体図を示す⇒手順・マニュアルを示す 	<ul style="list-style-type: none"> 等のどちらのタイプにも配慮する



障害のあるなしに関わらず、どちらが得意かといったことは私たちにも当てはまることです。苦手なことをがんばるといのは大切ではあるけれど、その分かかなりの努力を要します。必要に応じてそのお子さんが得意な方法で情報を得て、のびのびと活動ができるようお子さんにとってわかりよい支援をしていきたいですね。ぜひお子さんの“得意”をたくさん探してみてください!!

巡回相談や研修協力等の御相談は、お気軽に地域支援室までお電話ください。

広島県立広島特別支援学校 地域支援室

担当 専任教育相談主任 特別支援教育コーディネーター

大谷 祥子(肢体不自由部門) 寺田 浩樹(知的障害部門)

所在地 広島市安佐北区倉掛二丁目47-1

電話 082-843-1811 FAX 082-843-1813

Mail hiroshima-sh@hiroshima-c.ed.jp

本校 HP の QR コード

